

第6学年 総合的な時間指導案

日時 平成26年11月20日(木) 2校時

指導者 教諭 小林 三佳(T1)

教諭 大内 恵美(T2)

1 単元名「荒浜の防災」

小単元「これからの荒浜の防災」

2 単元の目標

○見出す力

- ・震災前、震災後の荒浜の防災施設の役割を学ぶ中で、一人一人が意欲を持って取り組むことができる課題を設定することができる。

○みつめる力

- ・防災施設の復興に携わる人たちの話を聞いたり、実際に荒浜で進められている工事の様子を見たりすることで、これからの荒浜の防災に対する自分なりの考えを持つことができる。

○かかわる力

- ・荒浜の震災や復興の様子を分かりやすく伝える工夫をし、発信することができる。

3 指導に当たって

本学級では、これまで「強い町づくり」という小単元で、主に仙台城と鶴ヶ城の石垣の役割について学習してきた。石垣の作り方の違いや、防災や防御に対する効果を博物館の先生の話を中心に理解を深めてきた。また、修学旅行では、宿泊したホテルで支配人さんからホテルの防災設備についてお話を伺い、ホテルは客が安心して過ごせるように工夫されていることを学んできた。

夏休み明けからは、荒浜の防災設備についての学習を始めた。年度当初から、児童は「復興に携わる人々に感謝の気持ちを伝えたい。」という希望を持っていた。そこで、震災から3年が過ぎた現在の復興の状況や荒浜の堤防やかさ上げ道路の今後の造成計画について、応用地質や震災復興室の方に講義をしてもらった。その中で、自分をもっと知りたいと思った課題を解決するために、荒浜に行き自分の目で確かめてくる活動も取り入れた。実際に見たり聞いたりすることで、復興の状況と今後の見通しについて知ることができたが、また新たな疑問も生まれてきた。その疑問をまとめ、再度震災復興室、公園課の人たちに教えていただく機会をもつことができた。

スパイラルな探求の過程を経ながら学習を進める中で、児童の意識も変化してきた。まず、「震災を知らない多くの人たちに震災や復興の様子を伝えたい。」という願いが変わった。さらに、「荒浜が確実に復興していることや津波にも強い設備がたくさん計画されていることを、仮設に住む人達など地域の人や東宮城野小の人たちに知ってもらい、みんなに安心してほしい。」という気持ちが高まった。

今後は、「これまでの・これからの荒浜の防災」という児童がまとめた内容を、2月の全校防災発表会や3月の世界防災会議で発信していくことになる。今年度の重点目標の一つである「自分から発信」の機会にさせたい。

<研究の視点と学年部の手立て>

(1) 児童が取り組む意欲を持てる教材の開発

共通体験をもとに、人々の良さや工夫に気付くことができる教材を取り上げる。

(2) 学びを整理し、考えを深めていくことができる単元構想の工夫

自らの課題を解決し、更なる課題に気付かせるために、計画的に講師を招く。

(3) 荒浜小に適した防災教育カリキュラムの改善

児童が経験したことを風化させないように、一人一人に寄り添ったカリキュラムを工夫する。

本単元における研究との関わり

- (1) 実際に荒浜を訪れ、見たこと聞いたことをもとにして、児童の中から自発的に生まれた思いを教材として取り上げた。
- (2) 小単元の中でもさらに細かな単元を設定し、単元の導入やまとめに講師を依頼したことでスムーズに学習が展開された。
- (3) 3人という少人数の利点を生かして、それぞれの課題が追及できるような見学や出前授業をカリキュラムに取り込むことができた。

4 年間指導計画

単元名「荒浜の防災」・・・防災

4～7月 「強い町づくり」25時間

～仙台城と鶴ヶ城の石垣の工夫～

8～2月 「これからの荒浜の防災」25時間

- ・これまでの荒浜の防災設備が果たした役割と、変化していく様子を理解する。
- ・調べた内容まとめ、防災発表会や世界防災会議で発信する。
- ・4代目横断幕のメッセージを考える。

単元名「これからの わたし」・・・自分づくり

1～3月 「これからの わたし」20時間

～卒業後の自分の姿を想像し、夢や目標を明確にする～

「これからの荒浜の防災」

時	主な学習活動	備考
つかむ 1～5 (5時間)	応用地質の出前授業を受けて、荒浜の地質の特徴やその土地の利用の仕方などを学習する。 また、地震のメカニズムやこれからの荒浜の防災についても学ぶ。	2時間単位で2回設定。 1回目は来校してもらい、2回目は応用地質を訪れて学習。
6～7 (2時間)	震災復興室の出前授業を受けて、荒浜の防災計画について学ぶ。	1時間単位で2回設定。 児童が興味を持っている防災

		施設について説明をしてもらう。
追求する 8～13 (6時間)	荒浜探検で自分の目で震災や復興の様子を見て疑問や感想を持つ。 また、探検のまとめと課題作りを行う。	準備1時間 探検2時間 まとめと課題作り3時間設定。
14～17 (4時間)	課題解決のために資料を読み直したり、質問事項を洗い出したりする。 震災復興室、公園課の人に質問に答えてもらい、考えをまとめる。	震災復興室・公園課出前授業1時間設定 「これまでの防災」「これからの防災」についてカードにまとめる。
18～21 (4時間) 本時 20時間目	「これまでの・これからの荒浜の防災」を作り、学習のまとめをする。 お互いに発表を聞き合い、分かったことや共感する点などを出し合い、防災図をさらに分かりやすいものにする。 未来に伝えたいことを4代目横断幕のメッセージとして表す。	防災図2時間 お互いに見合 って内容を理解し合い、どのよ うに伝えたらよいか考える2 時間を設定。 3年生のときに初めて作った 横断幕の写真などを見ながら、 そのときの思いを振り返る。
広げる 22～24 (3時間)	全校防災発表会の練習・リハーサル・発表	全校・東宮城野小・保護者・地 域の人たち・アドバイザーさん たちに、自分たちの思いが伝わ るように心を込めて発表させ る。
振り返る 25 (1時間)	1年間の総合の学習を振り返る。	活動の様子を画像で確認させ、 自分の成長に気付かせる。

5 本時の学習指導

(1) 本時のねらい

防災にかかわる荒浜の震災や復興の様子をまとめ、未来への願いを持つことができる。

(2) 指導過程

過程	主な学習活動	主な指導・支援（視点）
導入 2分	荒浜の防災について学んできた、わたしたちの願いを伝えよう。	T2 児童がまとめてきた「荒浜の防災」の図に一人一人がまとめた内容を貼り付けて明日には完成させることを話す。前半は発表、後半は未来に伝えたいメッセージを考えさせる。

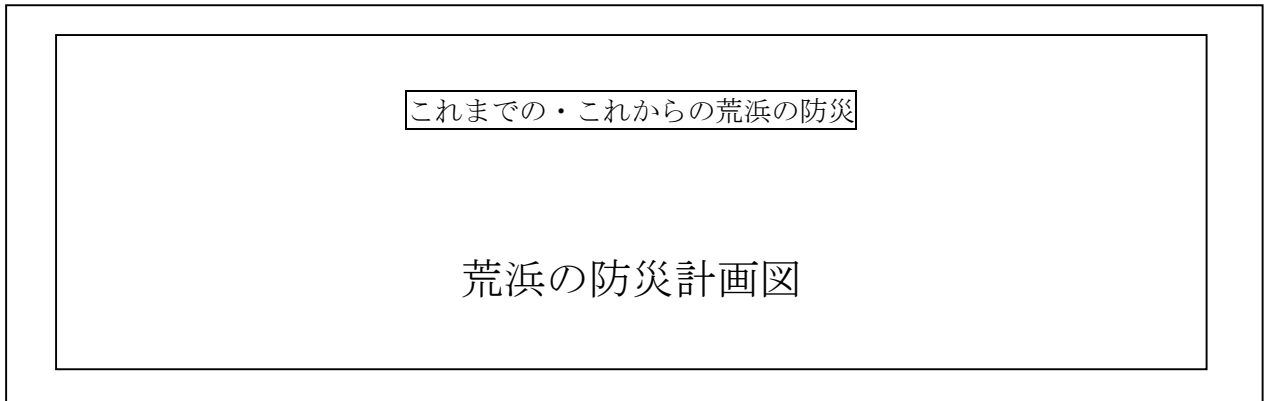
<p>展 開 I 18 分</p>	<p>1 「荒浜の防災」について共通理解する。</p> <p>(1) これまでの防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貞山堀 (A 児) ・ 防災林 (S 児) ・ 東部道路 (K 児) <p>友だちの発表を聞いて分かったことや共感する点, またはもっと分かりやすくする工夫などを出し合う。</p> <p>(2) これからの防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海岸防潮堤 (S 児) ・ 海岸公園避難の丘 (K 児) ・ 県道かさ上げ道路 (A 児) <p>友だちの発表を聞いて分かったことや共感する点, またはもっと分かりやすくする工夫などを出し合う。</p>	<p>これまでの防災設備が震災において果たした役割や新たな防災設備について理解させる。</p> <p>震災前にあった防災設備や果たした役割についての理解を深めさせる。担当した設備について, みんなに分かりやすく説明させる。</p> <p>友だち二人の発表に必ず感想や意見を述べるようにさせる。これまでも, 津波に備えた準備はされていたことに気付かせたい。</p> <p>震災後に進められている防災設備について理解し合い, 今後の荒浜への児童の願いも共有させる。</p> <p>新しくできる設備を分かりやすく伝えるための表示の工夫を考えさせたい。</p>
<p>展 開 II 20 分</p>	<p>2 4 代目横断幕のメッセージを考える。</p> <p>(1) 写真を見て, これまでの横断幕や込められた思いを振り返る。</p> <p>(2) 未来に伝えたいことを出し合う。</p> <p>(3) メッセージを考える。 ウォールアートの言葉を参考にする。</p> <p>3 学習を振り返り感想を書く。</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>視点 3</p> <p>児童が経験したことを風化させないように, 一人一人に寄り添ったカリキュラムを工夫する。</p> </div> <p>T 1</p> <p>3 年前に児童が発案した 1 代目横断幕やその変遷を写真で振り返り, 当時の願いを思い起こさせる。</p> <p>3 年の時を経て, 児童が伝えたい内容も変わってきた。荒浜小学校が後 1 年というこの時期にふさわしい内容を考えさせたい。</p> <p>前日に選んでおいたウォールアートのカードを手元において考えさせる。</p> <p>学習を振り返った感想や, 今後どのように伝えていきたいかなど, これからの思いなどを書かせる。</p>
<p>ま と め 5 分</p>		

(3) 評価

防災にかかわる荒浜の震災や復興の様子をまとめ、未来への願いを持つことができたか。

(4) 板書計画

黒板



ホワイトボード

荒浜の防災について学んできた、わたしたちの願いを伝えよう

4 代目横断幕のメッセージを考えよう

写真	たくさんの力をありがとう	ありがとうを力にかけて	ありがとう！ 夢・希望・未来	
----	--------------	-------------	-------------------	--

- ・後1年で荒浜小学校が終わる。
- ・後1年でできることは何か。
- ・自分たちは卒業するけど・・・。
- ・がんばっている姿をみんなに見てほしい。
- ・ありがとうという言葉は、やっぱり入れたい。
- ・忘れないというカードが多かった。

ありがとう
いつまでも忘れない



6年生は、荒浜の防災について調べました。